



# 図書館通信

最上校図書委員会 No.9 7月8日

## 令和四年度 校内読書感想文コンクールを実施します

1. 応募対象 全校生徒
2. 対象図書 ①自由図書  
②校外コンクール課題図書（課題図書は図書館にあります）
3. 字数・用紙
  - ①400字詰め原稿用紙4枚以上、5枚以内（1600字以上2000字以内）
  - ②本文は、用紙1枚目の1行目から書いていくこと
  - ③応募票に、学年・出席番号・名前・読書感想文の題名・書名・著者名・出版社を書くこと
  - ④原稿用紙・応募票は、学校指定のものを配布
4. 提出日 8月26日（金）クラス担任に提出
5. 審査 8月26日（金）～9月6日（火）第一次審査  
9月7日（水）～9月13日（火）第二次審査  
9月14日（水）最終審査
6. 表彰 入選作品を表彰し、「読書感想文集（生徒会誌）」に掲載する



## 第68回青少年読書感想文全国コンクール

### 『その扉をたたく音』 瀬尾まいこ著

29歳、無職。ミュージシャンへの夢を捨てきれないまま、怠惰な日々を送っていた宮路。人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生に達観しすぎている青年、そして人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。



### 『建築家になりたい君へ』 隈研吾著

10歳で建築家を志し、国内外で多数のプロジェクトをてがける今もっとも注目の日本を代表する建築家。難題だらけの仕事にどう挑むのか。建築知識満載で綴る今伝えたい10代へのメッセージ。

建築家とは、そしてこれからの建築とは？

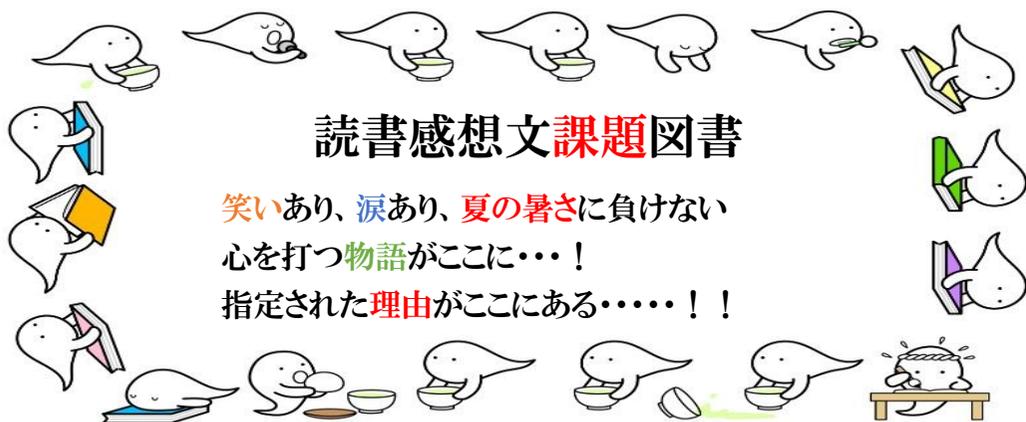
### 『クジラの骨と僕らの未来』 中村玄著

小さな頃から生き物が大好きで、さまざまな生き物を飼っていた少年は、ついに哺乳類最大のクジラの研究者に。クジラの骨を求めて、地球の北へ南へ。



### 読書感想文課題図書

笑いあり、涙あり、夏の暑さに負けない  
心を打つ物語がここに…！  
指定された理由がここにある……！！



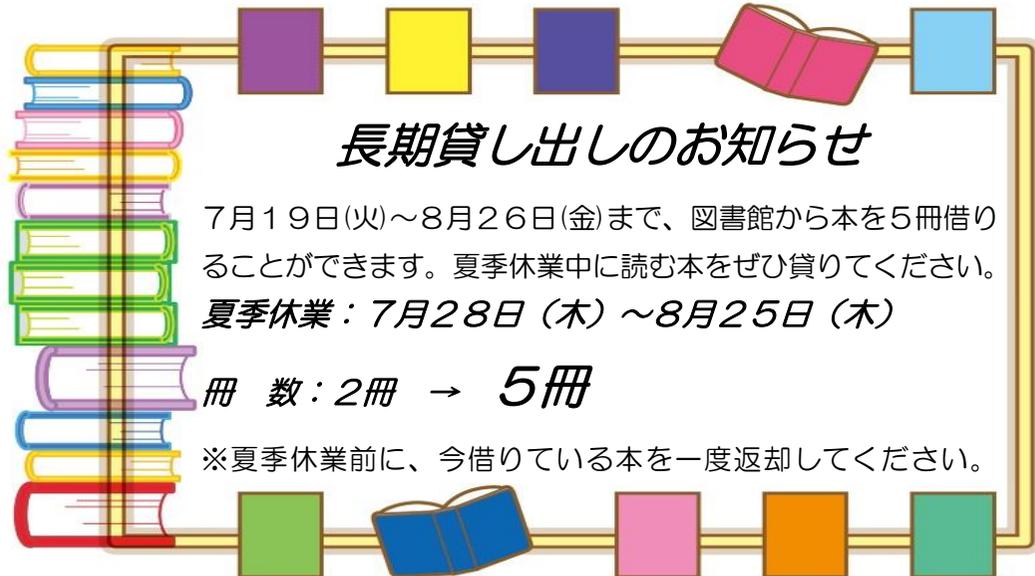
### 長期貸し出しのお知らせ

7月19日（火）～8月26日（金）まで、図書館から本を5冊借りることができます。夏季休業中に読む本をぜひ貸りてください。

夏季休業：7月28日（木）～8月25日（木）

冊数：2冊 → 5冊

※夏季休業前に、今借りている本を一度返却してください。



# 第55回 YBC 読書感想文コンクール



## 7月図書館企画 課題図書特集

ちょっと、早いけど、早めに選んでおこう！

『渋沢栄一伝』 小前亮著

約500の企業を育て「日本資本主義の父」とよばれた男。農家に生まれて、討幕派、幕臣、新政府の役人と立場を変え、やがて民間の企業人となった男の波乱と冒険に満ちた軌跡を描く歴史青春ストーリー。



『ソフィーの秘密』 ニキ・コーンウェル著

十四歳になったクリストフのところへ、ルワンダから、同じ年でいこのソフィーがやってきました。ぼくは今でもルワンダで起こったジェノサイドのことを忘れられずにいる。ソフィーはどうなんだろう。ぼくみたいに、ジェノサイドのことを一生背負っていかなくてもいいのかな。



だれでもデザイン



山中俊治

みんなのためのデザインから、一人ひとりのためのデザインへ。

『だれでもデザイン』 山中俊治著

デザインとはなにか。人間と新しい技術の関係を考えつづけてきた同氏が、物づくりの根幹とこれからについて中高生に語る一冊だ。

『渡辺えりの人生相談』

悩み苦しんでいるのは、あなただけじゃない。心に響く名回答に共感の声、続々！悩みは、生きているものが抱えなくてはならない荷物のようなもの。



『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン著

記憶力や集中力の低下、成績悪化、心の病まで引き起こす、そんな毎日を一変させる方法をハンセン先生が教えます。教育大国スウェーデンの教育現場を変えた、簡単なのに科学的な方法とは!?



# 読書感想文にオススメの青春小説！



『同志少女よ敵を撃て』 逢坂冬馬著

女性だけの狙撃小隊がたどる生と死。

彼女が目にした“真の敵”とは？

『三十の反撃』 ソン・ウォンビョン著

ある出会いを機に始めたこと！

それは社会への小さな反撃だった。

『タラント』 角田光代著

あきらめた人生にタラント(使命)が宿る。

『夏の体温』 瀬尾まいこ著

「出会い」がもたらす「奇跡」を描いた全3編。

『花屋さんが言うことには』 山本幸久著

花を求めのお客さんの事情はそれぞれ。いろんな想いが詰まったお花を届けているうちに、自分の心にもう一度向き合いはじめる。

『くるまの娘』 宇佐見りん著

家族のままならなさの根源にあるものを引きずりだしていく。

『パパイヤ・ママイヤ』 乗代雄介著

わたしたちの、奇跡のような一夏の物語。奇跡のような出会いは二人の夏を特別なものに変えていく。

『俺ではない炎上』 浅倉秋成著

炎上逃亡ミステリ。

『宙ごはん』 町田そのこ著

愛し方がわからない花野。甘え方がわからない宙。

家族を手探りする二人には記憶に残る食卓があった。

『カレーの時間』 寺地はるな著

カレーを囲む時間だけは打ち解ける祖父が、半世紀の間抱えてきた秘密とは？ラスト、心の底から感動が広がる。

